

事業名 補聴器の効果測定が可能な車両「ほちようきカー」実証事業

実施主体 株式会社 AT グループ

協力団体 補聴器フォーラム東海実行委員会、
MONET Technologies 株式会社、損害保険ジャパン株式会社

事業の全体像

背景と課題

高齢者の難聴は交通事故や認知症における大きなリスク要因。
補聴器の使用は認知機能の維持に有効であるものの、適切なフィッティング（調整）に不可欠な「音場測定環境」を備える施設は全国的に不足。

解決策

高度な防音・音響設計によって音の反響を抑え、日本聴覚医学会の推奨基準クリアを目指した専用車両「ほちようきカー」を開発。



開発した「ほちようきカー」車両

「ほちようきカー」の特徴



**補聴器フィッティングに
欠かせない測定が可能**

高度な防音・音響設計により、
聴力測定に加えて、補聴器の
効果測定に必要な音の反響
を抑えた環境を備える



**遠くの病院やお店に
行かなくても大丈夫**

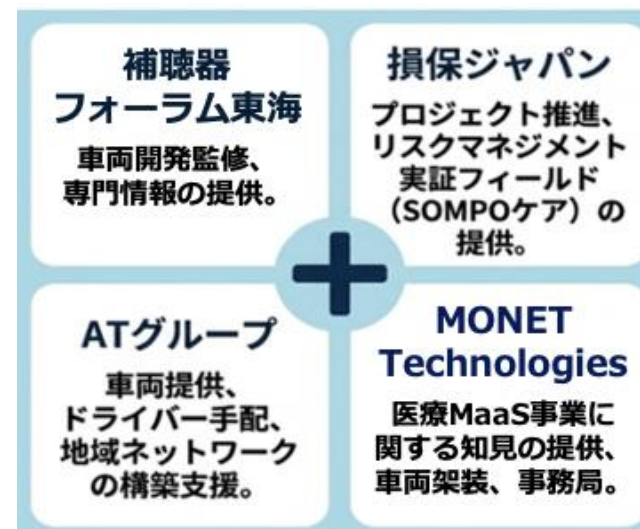
言語聴覚士や認定補聴器技
能者が車両を活用して、介護
施設等の自宅へ訪問し、補聴
器を適切にフィッティング(調整)



**医師とオンラインで
つながる遠隔診療**

医療機関にいる医師と
オンラインで接続して、
遠隔診療を行いながら
適切な補聴器調整を
サポート

事業主体と主な各役割



事業名 補聴器の効果測定が可能な車両「ほちようきカー」実証事業

実施主体 株式会社 AT グループ MONET Technologies 株式会社

協力団体 補聴器フォーラム東海実行委員会
MONET Technologies 株式会社、損害保険ジャパン株式会社

実証内容

実証内容・スケジュール概要

介護施設入居者を対象に、車両訪問による専門的な効果測定やフィッティングを提供し、「聞こえの改善」や「QOL向上」による難聴者の満足度向上および認知症リスク低減への貢献度を検証します

① 補聴器を所有している方



現状の課題

せっかく買った補聴器が合わず、違和感を感じている、または使用していない

提供サービス

「ほちようきカー」が施設を訪問し、認定補聴器技能者等による専門的な聞こえのチェック(純音聴力測定等)を実施

② 補聴器を所有していない方



現状の課題

難聴の疑いがあるが自覚がない、または補聴器の使用を選択していない

提供サービス

ほちようきカーからのリモート耳鼻科医師診療に加え、専門家による諸検査と補聴器の視聴体験を一貫して実施

上期 (4月～) : 東海エリア実証



- SOMPOケア (名古屋市内サービス付き高齢者向け住宅) 等での聴カスクリーニング



- 地域密着型開業医、言語聴覚士、認定補聴器技能者との連携モデル検証

下期 (9月～) : 首都圏エリア展開



- 大学や自治体と連携した広域モデルの検証



- 実証を通じて現場の「生の声」を徹底的に集め、車両や運用をブラッシュアップ